

平成30年度の普通会計予算、約351億円に

市長改選に伴い、3月議会で義務的経費（人件費、扶助費、公債費など、支出することが義務づけられている経費）や継続事業などを中心とした予算、約331億円が提案されました。

6月議会では、新規事業中心の予算、約20.7億円が提案され、審議しました。

◆市立学校空調設備整備事業

3,257万7千円

夏季及び冬季における児童生徒の学習環境の改善のため、市内のすべての小中学校と大島義務教育学校の普通教室など375教室に空調設備を付けることになりました。（平成31年度設置予定）

トータル約11億円の事業ですが、民間のノウハウを利用し平成31年から13年かけて支出されます。

今年度の金額は、空調設備を導入するための調査費です。



◆病児保育施設整備事業

（地域子ども・子育て支援事業） 5,602万8千円

病児保育とは、児童が病氣中や病氣の回復期にあり、集団生活が難しく保護者が仕事を休めないなど、自宅で保育ができない場合に児童を預かって保育をすることです。

平成31年4月開設予定の病児保育施設を片山医院に整備するための補助金です。

宗像市には、病後児保育（病氣の回復期の児童が対象）しかなく、市民から強い要望が上がっていました。

国への意見書

「国の負担で学校給食の無償化を求める意見書」「カジノ実施法案を廃案とすることを求める意見書」の二つの意見書が提案された。「カジノ実施法を廃止・・・」は賛成、「給食無償化・・・」は反対しました。この二つの意見書は、どちらも議会で否決され、国へは提出されませんでした。

◆「国の負担で学校給食の無償化を求める意見書」 市民ネットは反対

国の予算での学校給食の無償化をもとめる意見書です。

現在、宗像市では、学校給食に対して年間、市が調理に必要な費用約6億円負担し、保護者は材料費分約4億円を負担しています。全国で給食の無償化を実施すると約4000億円の予算が必要になると試算されています。確かに給食費を無償にすることは、保護者にとってうれしいことだと思います。しかし、本当に必要な事業なのでしょうか？

市民ネットは、以下の理由で反対しました。

●給食費未納から見えること

生活が困窮している家庭や、所得が低い家庭には、就学援助費等が支給され、その中に給食費も含まれています。

未納の家庭には、虐待や家庭内暴力、保護者自身の障がいなど養育に関する困難さが複雑に絡みあっていることが考えられ、子どもたちの生活環境を知る手掛かりになると言われています。

●子育て支援は優先順位を考えて

財源があれば、少人数学級の推進や、教職員を増やし、それぞれの子どもにあったきめ細かな支援をするなど、公教育の充実を図ることができます。また、妊娠期から継続した支援で安心して子育てできる環境を整えることができます。子育て支援として何が必要なのか、何を優先するのか十分考えて進める必要があると思います。



●子どもたちが将来負担することに？

国は、1000兆円を越す借金を抱えています。財源を考えないまま、無償化を実施すれば、さらに借金を増やすこととなります。それは、今の子どもたちに借金をつけを回すこととなります。子育て支援と言いながら、将来負担を背負わせることになることを危惧します。



◆「香害」による健康被害への理解と対策を

最近、衣類の柔軟仕上げ剤や芳香剤等の強い「香り」により、頭痛やめまいなどの健康被害を受ける人が増えています。

市民ネットは、4年前の議会でも、化学物質過敏症との関連も指摘して、強い香料の自粛を求めました。日常生活の中に強い香りが増えていて、誰でも健康被害者になりうる指摘されています。そこで、学校や市役所等の公共施設では、予防原則に立って、強い香りの製品を使用しない等の対策が必要だと考え、質問しました。



今回「香害」を取り上げたのは、知人から、小学生の子どもが給食当番になり、給食エプロンをつけたら、(家庭での洗濯で)強い香りが付いていて、頭が痛くなったと聞いたからです。

質問 市の公共施設では、「香り」等の化学物質に対する取り組みはどうしているか

回答 庁舎内では、手洗い用せっけんやトイレ清掃には廃油石けんの使用を基本としている。他の薬剤を使用する時は、入り口に掲示する。ワックスかけやカーペットの清掃等は、実施日時、使用薬剤を入りに表示し、清掃は土曜、日曜等閉庁日に実施するようにしている。

また、他の公共施設でもアレルギー症状や頭痛等の誘発防止のため、芳香剤等の自粛を要請している。職員にも香りの強い香水、整髪料、柔軟剤等の使用に配慮するよう注意喚起している。

質問 学校での香害による子どもの健康被害をどう考えているか。また、児童、生徒、保護者、教職員への啓発が必要、ポスターやリーフレットを作成してはどうか。

回答 「香害」では、幅広い方々が健康被害を受けている現状があると認識しているが、学校での実態は、把握していないとの回答でした。学校での実状把握のため、アンケート調査を強く要望すると、「給食エプロンの件を含め調査をしたい」とのことでした。

啓発・周知については、5月に消費者団体が文部科学省等に出した要望書への対応など国の動向をみて、方法等を検討したい。また、提案のあったリーフレット等は参考になるので、今後活用を検討していく。

☆市民ネットの提案

市役所への来訪者にも啓発が必要だと考え、先進自治体を参考に「香料自粛のお願い」のポスター掲示を要望しました。



◆安心・安全な自校式学校給食を

遺伝子組み換え食品の使用について確認しました。宗像市の自校式学校給食は以下の優れた特長があります。

- ✿各校には栄養士を配置されている。
- ✿食材には地元の農産物を取り入れられ、食育も工夫して行われている。
- ✿食物アレルギーの対応として栄養士が一人一人のアレルギーをチェックして保護者と連携をとるなど、きめ細やかな対応がなされている。

☆市民ネットの提案

全国的に評価の高い宗像市の自校式給食をこれからも継続することと、もっとホームページ等でアピールするよう提案しました。

☆市民ネットの提案

来年度、小中学校の空調設備設置の際に換気扇を付けることを提案しました。子どもは、大人より香料等化学物質の影響を受けやすいので、学校での対策を早く検討し、実施するように求めました。

◆投票率を上げる取り組みを

今回の市長選挙の投票率は37.34%で、前回より下がっています。1ポイント下がっています。選挙は市民の意思を示す場であり、投票率を向上させる取り組みが必要と考え、以下の提案をしました。

☆市民ネットの提案

- ① 広報紙（タウンプレス）の一面で選挙の事を知らせる。
- ② 期日前投票所を商業施設などに増やす。
- ③ 幅広い年齢の市民と一緒に投票率アッププロジェクトを立ち上げる。

